

事務事業名	公園長寿命化事業	事務事業No.	661 - 6
-------	----------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
都市建設部	都市計画課	公園緑地係	主事	萬歳 未来	課長	城戸 健児
施策体系	総合計画	政策	6	都市基盤・生活基盤		
		施策	6	公園・緑地の整備		
		基本事業	1	安全・安心な公園・緑地の整備		
	その他の計画	個別計画	公園施設長寿命化計画			
根拠法令・条例・要綱等	都市公園法					
事業開始年度	平成27年度	事業終了年度	令和7年度	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	平成27年度～令和7年度	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	厳しい財政状況の下、安全安心を確保しつつ、重点的・効果的な維持管理や更新投資を行っていくため、令和2年度に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設長寿命化対策支援事業の補助金を活用し、公園施設の維持管理・更新を行う。					
対象	働きかける相手・もの	改善が必要と判断された公園施設				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	工事を発注する。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	公園施設を改築、更新する。				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
工事発注	件	長寿命化の補助金による工事発注数	14	7	12

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
改築、更新した公園数	箇所	36	14	7	12
説明	方向性	達成目標年度	実績	12	5
	維持	毎年度	達成率	85.71%	71.43%
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	政策的経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 4 公園費	
	大 3 公園施設長寿命化事業費	中 7 公園施設長寿命化事業費【政策】	他 0 事業		
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由 (10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.65 人 5,328	0.75 人 5,856	補助対象事業費が増額したため。	0.70 人 5,466
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	会計年度 1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)	5,328	5,856	5,466		
事業費	直接事業費(B)	30,047	48,019	58,000	
	総事業費(A+B)	35,375	53,875	63,466	
直接事業費のうち の主な歳出内訳	工事請負費	30,047	48,019	33,000	
	委託料	0	0	0	
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0	0	
	国・県支出金	15,000	22,800	27,500	
	市債	15,000	22,000	26,200	
	一般財源	5,375	9,075	9,766	
	その他( )				

**6. 事務事業の事後評価★**

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
<b>妥当性 評価</b>  (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	市が所管している公園の整備のため、市が行う必要がある。
	目的の妥当性	妥当	施設を改築、更新することで、利用者が安全で安心できる都市公園になる。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	施設を改築、更新することで、利用者が安全で安心できる都市公園になる。
<b>効率性 評価</b>  (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	最低限の公園の整備のため、省力化を図る余地はない。
	負担割合の適正化	適正	負担が生じるものではない。
	手段の最適性	最適	類似事業等はなく、最適である。
<b>有効性 評価</b>  (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	厳しい財政状況の中、公園施設長寿命化対策支援事業の補助金を活用し、効果的な公園施設の発注をおこなった。
	上位施策への貢献度	貢献できた	公園の整備として、貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	計画に基づき、継続する必要がある。

**7. 前年度評価時の計画と実績**

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	公園の施設点検を行い、施設遊具の老朽箇所について早期の予防措置により通常予算範囲内での補修を心掛ける。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	新たな計画に基づき、より現状に即した施設遊具の改善を行う。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入

R2年度に作成した新たな公園長寿命化計画に基づき、施設遊具の老朽化箇所について早期改善を行うことができた。

**8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★**

**成果** 本事業は、公園施設長寿命化対策支援事業の補助金を活用し、重点的・効果的に公園施設の維持管理・更新をおこなった。

**課題** 今後も補助金を活用して施設の改築更新を実施するが、補助金額の減額が想定されるため計画どおりの整備ができない可能性があり、対策を考える必要がある。

**9. 今後の事業の方向性と改善策**

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性	
	現状維持	④	②	①			
	縮小	③	⑤		一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	
	休・廃止	⑦			二次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	
		コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	公園の施設点検を行い、施設遊具の老朽箇所について早期の予防措置により通常予算範囲内での補修を心掛ける。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	公園長寿命化計画に基づき、より現状に即した施設遊具の改善を行う。

評価変更理由	一次評価のとおりとする。
--------	--------------